

M138-P025

会場: ポスター会場

時間: 5月19日

## EM設計に基づくMMO搭載MIAの観測モードの検討

### A study on observation modes of MIA/MMO based on the EM design

# 三宅 互 [1]; 斎藤 義文 [2]

# Wataru Miyake[1]; Yoshifumi Saito[2]

[1] 東海大工; [2] 宇宙研

[1] Tokai Univ.; [2] ISAS

MMOに搭載される水星イオン計測器(MIA)はEMの設計が終了し、現在、製作が進められている。水星周辺で予想される種々のプラズマ環境に対して、このEMセンサーの特性から、どのようなテレメトリデータを送出してくるかをシミュレートした。さらに、得られたデータからどの程度の精度で、はじめのプラズマ環境の情報を再現できるかを検討し、各々のプラズマ環境と観測モードの有効性と限界を議論する。